

質問順		第537回 令和6年6月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
1	2	山口 肇	(1) 町の農業施策について	① 現在国会で審議されている「食料・農業・農村基本法」改正案について、町はどのように捉えているか。	町長
				② 今後、町としてはどのような農業施策をしていく予定か。	
				③ 循環型農業をめざして、有機農業に力を入れる自治体が増える傾向にあるが、富士見町で取り組む予定はあるか。	
			(2) 移住定住施策について	① 移住希望者のなかに、農業に関わりたいと相談される方はいるか。その対応は。	町長
				② 北杜市では、「農地付き空き家」という登録もあるそうだが、富士見町での取り組みは。	
				③ 移住希望者に「お試し住宅」を用意し、地域の様子を知っていただく取り組みをしている自治体もあるが、町の予定は。	
			(3) 第7期富士見町障害福祉計画について	① 重点的に取り組もうとしていることは何か。	町長
				② 地域生活移行に1名の目標とあるが、地域で生活する場所とはどこか。	
			(4) 防災対策について	① 福祉避難所の開設が難しいとの報道がある。町の福祉避難所の開設準備の現状は。	町長
				② 個別避難計画策定が進められているが、その進捗状況は。また、策定後、避難訓練等を実施する予定は。	
				③ 河川流域の災害を心配する住民の声が大きい。土砂災害のハザードマップの見直しは進められているか。	
			2	7	名取 久仁春
② この事業での富士見町に関する主な実績は。					
③ それぞれの実績に対する評価は。					
(2) ハヶ岳定住自立圏共生ビジョンについて	① これまでの実績はどうなっているか。	町長			
	② それぞれの実績に対する評価は。				
	③ 今後の進め方は。				

質問順		第537回 令和6年6月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会	
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨		答弁者
3	9	小倉 裕子	(1) 障がい者の自立支援について	①	一般就労に向けた取り組みは。町内の障がい者雇用の実態は。	町長
				②	各種就労支援補助の事業者への周知は。	
				③	障がい者トライアル雇用奨励金と特定求職者雇用開発助成金の併用について、制度改正により助成金の受給期間が短縮された。労働人口の減少が問題になってくる中で、障がい者雇用に取り組む事業者と障がい者、双方が前向きになれるような制度設計を考えないか。	
		(2) 町民が必要とする交通手段について	①	高齢者、障がい者の交通手段の確保について、実態把握と将来に向けた構想は。	町長	
			②	飲食店にとっても、町民にとっても、夜の交通手段は必要なものである。その確保が難しい状況にある中、公共交通等町の施策に期待する声も多くあるが、考えは。		
		(3) 告知放送システムの更新について	①	町民に提供する情報で必要なものは何だと捉えているか。	町長	
			②	情報提供だけでなく、町民から情報を得るためのシステムとして利用できないか。		
			③	「重層的支援」等色々な局面で、シンプルな双方向伝達手段が必要と考える。告知放送機器切り替えのタイミングで、各課横断し検討していく必要があると思うが、2026年度実施に向けて早急に取り組む考えは。		
		4	6	渡辺 葉	(1) 八ヶ岳定住自立圏の子育て環境の情報発信について	①
②	3市町村の子育て関係施設を包括的に掲載する「八ヶ岳子育てマップ」等の制作を提案する考えは。					
③	子育て世帯や若い世代の圏域への定住促進を目的としたウェブサイトやSNSの運営に3市町村が連携することや、住民参加型のSNS上フォトコンテストの圏域実施等を提案する考えは。					
(2) 八ヶ岳定住自立圏の子育て関係施設・サービスの相互利用促進について	①			町病児病後児保育の受け入れ人数が限られているため預けられなかったという声もある。北杜市方面に通勤している方が市の病児病後児保育を利用する際に町が補助を提供できないか。	町長 教育長	
	②			町ファミリーサポート指定施設の開館時間では利用できない保護者も多い。開館時間の長い原村の子育て支援センターでの預かりもできるよう連携できないか。また、依頼会員と支援会員の交流イベントや研修会の圏域合同開催についての考えは。		
	③			山梨県の産婦人科、助産院、助産師を活用する町内の妊産婦も少なくないが、県外では妊婦健診受診票や産後ケア利用券が使えず還付申請の必要があり負担が大きい。町として北杜市の助産師等と契約を結び、出産の選択肢を広げる考えは。		
	④			町が原村と連携し部活動の地域移行に取り組む上で、保護者に頼らない子どもたちの町村間の移動について、地域公共交通システム事業ではどのように計画しているか。		
	⑤			文化・芸術・自然学習・スポーツを楽しむ機会を子どもたちに十分に提供するため、圏域内イベントに関し子育て世帯をターゲットにした周知と参加促進を強化する考えは。		
(3) 八ヶ岳定住自立圏の仕事の情報発信について	①			生産年齢人口の定住促進には仕事の情報発信も欠かせない。圏域合同会社説明会をオンライン開催し仕事の選択肢を広く提供することで、より多くの若い世代に町や町内企業を知ってもらうきっかけを作ることに、町の考えは。	町長	

質問順		第537回 令和6年6月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会		
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨		答弁者	
5	1	織田 昭雄	(1) 企業版ふるさと納税の富士見町の現状について	①	現在の町の実績はどの位あるか。または交渉中の案件はあるか。	町長	
				②	町内外の企業への働きかけはどのようにされているか。今期より導入された「地域力創造アドバイザー」の活用は、企業版ふるさと納税の獲得に有効ではと考えるが町の考えは。		
				③	富士見2大リゾートの施設更新や創造の森周辺の開発、ハヶ岳登山道整備などは完成までには膨大な費用と時間が必要だと思う。民間企業の賛同を得て町づくりを進める事が出来る「企業版ふるさと納税」は積極的に獲得すべきだと思うが町の考えは。		
				(2) 町行政関係や町内行政区の役員のなり手不足などの諸問題について	①	少子高齢化が進む町内の現状を見た時、町審議会や行政区役員のなり手不足という問題は、後継者がいない地区は高齢者に何回も役員が回ってくるが、この現状に町としてどう取り組むのか。その具体策は。	町長 教育長
					②	行政区への加入問題は、どこの自治体でも対策に苦慮している。町では、担い手が不足する行政区への支援を実施しているが、現状の課題と今後の展望は。また、新たに配置された集落支援員は、行政区からの相談窓口としての業務も含まれるか。	
					③	従来からあるスポーツや文化のサークルへの若者参加が無く、メンバーの高齢化に伴い解散を選択するケースも出ている。また、町が主催する大会でも選手集めに苦勞する行政区も出てきているが、こうした点からも行事の再検討、見直しも必要な時期が来ているのではと思う。過去には生活展の廃止をしたように、こうした事も必要かと思うが町の考えは。	
6	10	西 明子	(1) 社会教育分野における専門職について	①	図書館司書・博物館学芸員の資格を持つ職員数は。一般職・専門職の別、会計年度任用職員数は。	教育長	
				②	図書館司書、博物館学芸員等、専門職としての今後の採用予定は。		
				③	社会教育主事は現在置かれているか。これまでの実績は。		
			(2) 社会教育の視点をさまざまな分野に活かすことについて	①	今年度の重点施策に「生涯学習の充実」や「協働の推進」というキーワードがある。通底するのは社会教育の重要性だが、どのように考えるか。	教育長 町長	
				②	社会教育施設の役割は、学習の機会や情報の提供等であり、社会教育分野への投資は町民の利益に還元されるものである。行政情報の発信、学習の場も含めた「学び」をどのように仕掛けていくか。		
				③	社会教育施設だけでなく、NPO、企業、学校等さまざまな分野で「社会教育士」取得者の活躍が期待されている。まちづくり、高校魅力化等においても、社会教育の視点が必要と考えるが、どうか。		

質問順		第537回 令和6年6月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会	
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨		答弁者
7	5	牛山 吉彦	(1) 防災からみた橋梁長寿命化修繕計画見直しについて	①	富士見町橋梁マネジメントの評価項目に”防災”面も必要と考えるが、町の考えは。	町長
				②	立場川沿いの橋梁は橋脚が多く土石流や流木を堰き止めるなど2次災害等の可能性があるが、対応は検討しているか。	
				③	立場川橋梁(鉄橋)の位置づけと、今後の対応方針は。	
		(2)	富士見町の地質調査結果と防災マップや森林整備計画等との関係について	①	八ヶ岳南麓や西山地区の過去の地質調査結果などを防災マップと重ねることで災害可能性を推定できると考えるが、町の考えは。	町長
				②	過去の地質調査結果などを森林整備計画(ゾーニング)や道路整備計画などに反映させる考えはあるか。	
		(3)	コミュニティバス実証運行の協働化と公共交通のあり方について	①	R5年末に実施したコミュニティバス実証運行の評価と、R6の運用方針は。	町長
				②	注目度の高い実証運行だからこそ住民との対話を重ねながら進める必要があると考えるが、協働の意向はあるか。	
				③	現状のデマンド交通やタクシーとの棲み分け及び活用など、公共交通の全体像をどう考えているか。	
		8	3	矢島 尚	(1) 新井戸尻考古館について	①
②	建設予定地は確定したか。					
③	新館建物のイメージはこれからと思われるが、面積、構造、また建設にあたり文化庁などの指導はあるか。					
(2)	役場通り線と北通り線について			①	役場通り線、北通り線の交差点に右折レーンを設けることはできないか。(町民センター側に上から右折する場合)	町長
				②	北通り線(東西)の信号機が時間帯により(朝・夕)太陽の光で見えない時があり危険を感じる。予告信号機を東西の交差点手前に設置できないか。	
				③	北通り線ゆめ広場前(商工会館前)東西の道路路面に、スピードを制御させるための舗装表示はできないか。	
(3)	町長任期残り1年になり想うことは			①	町長の任期が8月で残り1年となる。現在2期7年間を振り返り、町政運営で成果がでたと思うことは。	町長
				②	町長が想う今後の富士見町で心配されることは。	
6月3日(月) 5名 1番～5番 4日(火) 3名 6番～8番						